

お知らせ

布団丸洗いサービス 受付開始

市では、在宅で介護を受けておられる人が日常的に使用する布団を丸洗いするサービスの申請を受け付けています。



「サービスが受けられる人」

65歳以上で平成19年11月1日～平成20年4月30日の間で3か月以上在宅生活でされている方のうち、5月1日現在で介護保険要介護3～5の認定を受けているか、障害老人の日常生活自立度ランクBおよびCの方で、次の①から③のいずれかの項目に該当する方

- ①ひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯
 - ②所得税非課税世帯
 - ③生活保護を受けている世帯
- 【受付期間】 6月2日(月)～16日(月)
【負担額】 利用料の1割(500円程度)

お問合せは、高齢福祉介護課(☎7789)、浅井支所市民福祉課(☎74352)、びわ支所市民福祉課(☎75253)へ。

市立長浜病院からのお知らせ

改革プラン策定委員会と運営協議会の委員をそれぞれ募集します！

市立長浜病院では、地域における必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくための「市立長浜病院改革プラン」の策定委員と、地域に根ざした病院事業を推進していくために病院運営について協議いただく委員を次のとおり募集します。

- 【任期】 委嘱の日から2年
- 【応募方法】 持参、郵便、メール（応募用紙に住所・氏名・性別・年齢・電話番号・動機を記入し、意見書(800字程度)を添付）
- 【募集締切】 6月16日(月)必着

【応募資格】

- ・20歳以上の市内にお住まいの人
- ・常勤の公務員と国・地方公共団体の議員でない人
- ・広い視野に立って様々な角度から建設的な意見・提案をいただける人
- ・平日に開催する委員会に出席できる人

【募集人数】 それぞれ2人以内

■応募・お問合せ先

〒526-8580 長浜市大成亥町313
市立長浜病院事務局
改革プラン策定委員会については、
経営企画課(☎2325)
運営協議会については、
管理課(☎2324)
E-Mail:nch@mx.biwa.ne.jp

児童手当の現況届は6月中に

現在、児童手当を受けている人は、引き続き受ける資格があるかどうかを確認するため、毎年6月中に「児童手当現況届」を提出していただくことになっています。

現況届は、下記の窓口へ6月30日(月)までに提出してください。

※対象となる人には、市から必要書類を郵送します。

■提出・お問合せ先

子育て支援課(☎6514)
浅井支所市民福祉課(☎74352)
びわ支所市民福祉課(☎75253)

お問合せは、彦根社会保険事務所(☎7491116)へ。

「年金受給者のみなさまへ 年金振込通知書」 送付のご案内

社会保険庁では、年金受給者を対象として、毎年6月にその年度に支給される年金額をお知らせする「年金振込通知書」を送付しています。

この通知書は、原則として向こう1年間の年金支払額をお知らせするものです。支払額や支払機関等に変更があった場合は、改めて「年金振込通知書」が送付されます。

※平成20年度の年金額は、平成19年度の年金額と同額となるため、年金額改定通知書は送付されません。

お元気ですか

リハビリテーション科の取り組み

ーリハビリは楽しく、根気強くー

市立長浜病院のリハビリテーション科では、心身に障害を持つ患者さんに対して、一人ひとりがより充実した生活が送れるように、様々な知識と技術を持った専門スタッフがチームを組み、患者さんの生活の自立や社会復帰を援助しています。

同院のリハビリテーション科には1日200人以上の患者さんが訪れ、その年齢は0歳から102歳までと幅広いため、一人ひとりに合った様々な方法でリハビリを行っています。今回はこの道34年、技師長の大橋博さんに同科での取り組みについて話を伺いました。

「リハビリは、患者さんと接する時間が非常に長いのが特徴で、最低でも3か月、長いと数十年もお付き合いすることがあります。病院で行うほとんどの治療は患者さんが受身となりますが、リハビリは患者さん自身が能動的に取り組んでもらうものです。その分患者さん、ご家族にできるだけ気力・やる気を持続してもらえよう心掛けなければなりません。

当院で一番心掛けているのは、患者さんと十分なコミュニケーションを取り、人間関係を築くことです。理屈ばかり言っているはお互い嫌になります。そのため、時には冗談を交えながら患者さんと話したりして患者さんの緊張をほぐし、自分自身も仕事

を楽しんでいます。治療法についても、その人はどういう人生を送ってこられたのか、どういう生活を送っておられるのか、まず人を見ることから入り、患者さん一人ひとりに合った治療法を考え、実践しています。

今後積極的に取り入れていきたいのが、現在も一部取り入れている、園芸・調理・編物・折り紙などです。これは、趣味を広げていただく感覚でリハビリを行うもので、気力を持続させながら取り組んでいただける効果的な治療法の一つと考えています。

当科では、当院で行っている糖尿病教室や家庭介護指導の中で運動療法や家庭での介護に関するお話をさせていただいているほか、運動等に関するあらゆるご質問を承っています。お気軽にご相談ください。」



リハビリテーション科：☎2300(代)

「こんにちは、麻酔科医です。」



市立長浜病院
麻酔科

青井良太先生

昔と違い最近では、高齢の方でも安全に手術を受けておられます。しかし、どのような手術にも危険は伴うもので、手術を受ける方で不安を持たない人はいないでしょう。

私たち麻酔科医は、その名のとおり麻酔の専門家です。手術の際に患者さんに麻酔を行い、痛みを取り除き、患者さんの身体を守ることが私たちの主な仕事です。手術前には、患者さんのところに診察に行き、その患者さんに合った麻酔を考えます。手術中は患者さんに代わって、身体に危険がおよばないように目を光らせています。外科の先生が手術だけに集中できるように私たちが患者さんの身体を預かっているのです。手術が無事終了し、手術室を退出されるその瞬間まで私たちが常にそばにいらさせていただきます。

市立長浜病院では麻酔科医4人が、年間2,000人の患者さんの手術をお手伝いしています。手術中は、私たちが責任を持って患者さんの身体をお預かりしますので、安心して手術に臨んでいただきたいと思います。